四島のかけ橋

第 55 号
平成26年８月29日
（金曜日）

発行所
北方領土返還要求運動
神奈川県民会議
〒231-8588 横浜市中区日本大通１
TEL 045-210-1111 内線3618
発行人 綾 井 祐 一

北方領土返還要求運動神奈川県民会議
平成26年度総会を開催

北方領土返還要求運動神奈川県民会議では、七月九日（水）午後三時三十分より、横浜市中区山下町の「ワークピア横浜」三階会議室「いちょう」において、平成二十六年度総会を開催しました。

新会長に向笠茂幸県議会議長を選任

午後三時三十分、神奈川県県民局総務室　杉山企画調整担当課長による開会の辞で始まり、白石副会長（日本労働組合総連合会神奈川県連合会　顧問）が議長として会議を進行しました。

第一号議案役員の選任については、選出母体の役員改選により、会長には、前神奈川県議会議長の古沢時衛氏に替わり、先の県議会議員で新たに神奈川県議会議長に就任した向笠茂幸氏を、副会長には、前日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会会長の釰持賢祐氏に替わり、同会長の清田祐介氏を選出しました。

また、任期満了及び選出母体の役員改選による退任等に伴い、日本労働組合総連合会神奈川県連合会副事務局長の早坂公幸氏以下八名をそれぞれ役員に選出（再任）しました。（新役員は、平成二十六年度役員名簿のとおり。）

次いで、第二号議案平成二十五年度事業報告、第三号議案平成二十五年度収支決算及び監査報告、第四号議案平成二十六年度事業計画（案）、第五号議案平成二十六年度収支予算（案）を全会一致で承認しました。

◇向笠茂幸　会長◇

神奈川県議会議員（足柄下郡選出）。平成十三年に初当選以来、四期当選。

この間、商工労働常任委員会、議会運営委員会の各委員長及び自由民主党神奈川県議会議員団団長を歴任。

平成二十六年五月、神奈川県議会議長に就任。神奈川県出身。六十六歳。

平成26年度総会

平成26年度役員名簿

役職名	氏名	団体等の職
会長	向笠茂幸	神奈川県議会議長
副会長	白石俊雄	日本労働組合総連合会神奈川県連合会顧問
	清田祐介	日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会会長
事務局長	早坂公幸	日本労働組合総連合会神奈川県連合会副事務局長
理事	塚原良一	神奈川県商工会議所連合会専務理事
	二宮務	神奈川県農業協同組合中央会常務
	松尾美智代	神奈川県地域婦人団体連絡協議会会長
	井上早苗	川崎市地域女性連絡協議会顧問
	有波良枝	横浜市女性団体連絡協議会副会長
	綾井祐一	北方領土問題対策協会神奈川県推進委員
監事	高橋征人	神奈川県漁業協同組合連合会代表理事会長
	嶋田幸雄	神奈川県中小企業団体中央会専務理事

会長就任にあたって

神奈川県議会議長　向笠茂幸

ただいま会長をおおせつかりました、神奈川県議会議長の向笠茂幸でございます。

本日は各団体から錚々たるメンバーにお集まりいただき、ありがとうございます。

皆様のご協力をいただき、北方領土返還という大きな目標に向けて、尽力してまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

昭和六十年十一月に発足いたしましたこの県民会議も、本日で第三十回目の総会を迎えることになりました。

北方領土返還に向けた、会員の皆さんの熱意と長年の努力に、心から敬意を表します。

戦後六十八年が経過しましたが、依然として北方領土の返還がなされていないことは、きわめて残念であります。

今、北方領土問題は多少動きが出てきました。昨年四月、十年ぶりに日露首脳会談が開かれて以降、外務次官級協議や、外務・防衛担当閣僚による初の２プラス２会合も開催され、北方領土問題解決へ向けた気運の高まりを感じていたところです。

そのような中、今年二月にロシアはクリミア半島を併合、事実上の軍事介入をしました。こうしたことから、日露協議は難航している状況です。

そこで、政府には、今まで以上に戦略的かつ展望を持った外交交渉を強く求めていかなければならないと考えるところです。

そして、それを支えていくためには、日本国民一人ひとりが北方領土問題に対して正しい認識を持ち、共有し、一日も早い返還を求める国民・県民の声を結集することが不可欠と受け止めております。

私ども県民会議といたしましても、世論を盛り上げ、国の外交交渉を支えるため、県民の皆様に呼びかけ、この問題の周知を図り、運動をより一層推進していこうではありませんか。

本日ご出席の皆様方におかれましては、今後とも北方領土返還要求運動に対する一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、簡単ではございますが、私の就任のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

灯台

推進委員報告（その八）

昨年十一月神奈川県の中高生と、北海道、羅臼町と根室市を訪問しました。羅臼町では観光船に乗り、目の前に見える国後島までの中間点まで行きました。国後島は羅臼町からわずか十六kmの近さで、肉眼でロシアの船が操業しているのが見えます。船長さんの話によると、ロシアの漁船は底引き網で魚を根こそぎ獲ってしまうため、羅臼の漁獲量は年々減少しているとのことでした。

さて、こんなに近い島、国後島や歯舞群島、更には色丹島、択捉島の北方領土四島返還運動を長年続けてロシアについて感心をもち、ロシアについてのいろいろな本を読みました。主な本のうち司馬遼太郎氏の「坂の上の雲」「菜の花の沖」「ロシアについて－北方の原形」など幕末から明治維新にかけての日本とロシアの関わりや争い、またその背景にあるロシアという国の生い立ちなど何故ロシアが日本の領土を欲しかったのかなどが解かってきます。また船や漂流に関する多くの本の著者・吉村明氏の著書のなかでロシアに関する本が多くあります。例えば「大黒屋光太夫」漂流し最後にはかつてロシア帝国の首都であったサンクトペテルブルクのロシア女帝エカテリナに謁見した話、「ポーツマスの旗」日露戦争に勝利した日本がアメリカのポーツマスで講和条約を締結した時の裏話、「ニコライ遭難」国賓のロシア皇太子ニコライへの官民を挙げての歓待を警護の巡査が突然襲った話など、当時の日本が文明開化に向けて苦悩する様子が見て取れます。これらの本を読んだ方もおられるかと思いますが、若い先生方や中高生や大学生に是非読んでもらいたいと思い、あえて本の紹介をさせてもらいました。

（綾井）

第28回北方領土返還要求運動関東甲信越青少年交流会
平成26年度関東甲信越北方領土問題教育指導者地域研修会

第28回北方領土返還要求運動関東甲信越青少年交流会は、七月二十六日（土）午後一時より、横浜市中区山下町の「ワークピア横浜」に、北海道根室管内及び関東甲信越の各都県より中学生、引率の先生等八十三名を招き、盛大に挙行されました。一日目のグループワークでは、中学生は遠路の疲れも見せず、若者らしく、すぐにお互いが打ち解け、活発で元気の良い交流となりました。二日目は「県立　生命の星・地球博物館」等を見学し、昼食後、小田原駅で解散、全員無事のうち、成功裡に終了しました。

グループワークの様子

集合写真

七月二十六日（土）一日目

この交流会では、北方領土隣接地域一市四町（根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町）に在住する北方四島元居住者の三世、四世の中学生七名と関東甲信越の中学生が一緒に北方領土について学びます。

午後一時からの全体学習会では、最初に根室市立歯舞中学校の中島恭輔さんから「今、僕達にできること」と題した意見発表がありました。その後、七グループに分かれて、「北方領土夢をかなえる未来プロジェクト」とのテーマでグループワークを行い、北方領土の自然・環境や返還などについて、素晴らしいプレゼンテーションがありました。

その後、午後七時から中華街でグループワークの表彰式を兼ねた夕食があり、川崎市・夜の工場地帯をバスで見学したのち、午後九時三十分ホテルに到着しました。

七月二十七日（日）二日目

前日夜遅くまでの交流会にも関わらず、二日目は朝六時三十分朝食、七時三十分に小田原に向けてバスで出発しました。

鈴廣の「かまぼこの里」では、職人さんの指導のもと、小田原名物のかまぼこ・ちくわの手づくり体験をしました。いつも食べているかまぼこやちくわとは違う、独自の形をした自作の食品ができあがり、職人さんの腕前に改めて感心しました。できあがったかまぼこちくわは、お土産にいただきました。

その後、神奈川県立　生命の星・地球博物館」で地球の生い立ち、動植物の生命の進化などを学び、普段見ることのできない隕石や動植物などを見ることができました。

見学後、箱根湯本のホテルでヴィヴァルディの『四季』を聞きながら昼食をいただき、午後二時四十五分、小田原駅で解散しました。

結び

この事業は北方領土返還運動の一環です。返還交渉は国の外交交渉の仕事ですが、領土問題は長期に亘ることが予想され、実際ロシアに不法占拠されて六十九年が経過しています。国民運動としてのこの事業は、今後も若い先生や生徒に理解と継続をしてもらう必要があります。今回は神奈川県に七十一名の中学生と指導教諭をはじめとする関係者が集まり、北方領土のことを学びました。

同時に「教育指導者地域研修会」が併催され、二十一名の教育指導者と関係者で各都県における北方領土教育の取組について話し合われ、今後の学校教育においての課題などの議論がありました。

何より今回の事業では、ワーキンググループではじめて出会った生徒と活発な議論を行ない、仲良く楽しい勉強ができて感動したと多くの生徒達が感想を寄せてくれました。今回の事業の成功に感謝します。

（綾井）

第30回 北方領土返還要求運動 神奈川県民大会

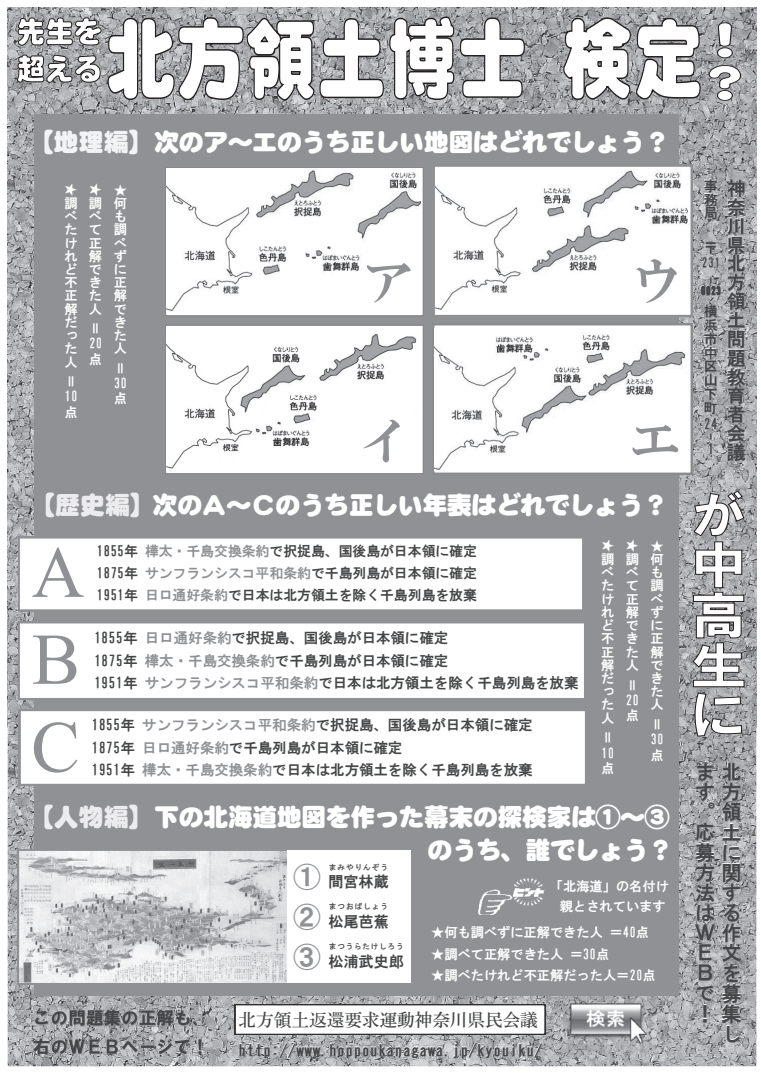
日時：平成26年11月18日（火）　18時～19時45分
場所：横浜情報文化センター　情文ホール
内容：記念講演、北方四島交流訪問事業報告ほか
（予定）

皆様、ふるってご参加ください。

編集後記

◇古沢時衛前会長、一年間ご協力いただきありがとうございました。二十六年度は向笠茂幸県会議長に会長にご就任いただきました。五月二十六日議長室を尋ね会長就任をお願いしたところ、快く承諾をいただきました。この県民会議も昭和六十年発足時の石渡清元議長から数えて三十人目の会長です。歴代会長に感謝するとともに向笠会長どうぞ一年間よろしくお願いいたします。（綾井）

神奈川県北方領土問題教育者会議では、今年も中高生からの作文を募集しています



今年も「北方領土に関する作文コンクール」を実施します。
会員の皆様方の周りの青少年にも、応募のはたらきかけを是非お願いします。
北方領土に関する自由な内容の作文を、2000字以内で。
締切りは平成26年９月10日（水）です。
※ポスター設問中〔人物編〕③の「松浦武史郎」は「松浦武四郎」が正しい名前です。

詳しくは、教育者会議ホームページ
（http://www.hoppoukanagawa.jp/kyouiku/index.htm）をご覧ください。